

「いのちの先生」の学習を受講しました。

2018年6月8日(金)

「いのちの先生」の学習が、6年生を対象に行われました。今年より、高松東消防署牟礼分署の勤務になった消防士の中村泰隆さんが、消防士になるための苦労や仕事を遂行する大変さについて、親しみやすく話してくださいました。

「命」に直面している仕事だけに、火事や事故で亡くなった方の家族に立ち会うこともあり、その辛さは計り知れないことも教えてくださいました。



また、消防士になると、緊急時のため、外食ができず、自分たちで料理をつくらなければならないので、料理が上手になるエピソードも紹介してくれました。ちなみに中村さんの得意料理は「肉じゃが」ということでした。

これからも、わたしたちのまさかの時のために気をつけてお仕事にがんばってほしいと思いました。